

かえる倶楽部タイムズ

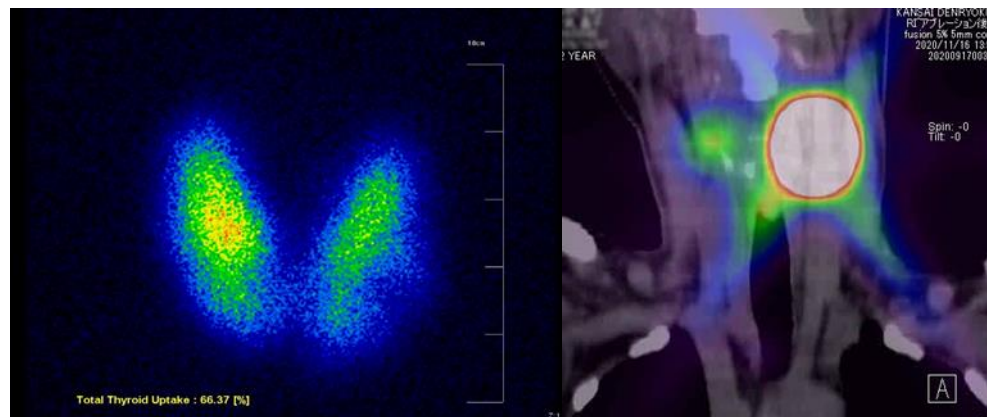
特集

「甲状腺 RI(ラジオアイソトープ)治療」

糖尿病・内分泌代謝センターでは、平日の通常外来診療でも甲状腺疾患(バセドウ病や橋本病など)の診療を行っておりますが、月曜と木曜午後には甲状腺専門外来を開設しています。甲状腺専門外来では、より甲状腺に特化した診療を行っており、特に木曜日には放射線治療の専門家である大阪市立大学医学部附属病院・核医学科より河邊譲治先生を非常勤医師として招聘し診療にあたっています。

●甲状腺はヨウ素を材料とする甲状腺ホルモンを合成する臓器であり、正常甲状腺細胞及び分化型甲状腺癌細胞はヨウ素を取り込む性質があります。この性質を用い、原子炉で作られる放射性ヨウ素(I-131)を取り込ませ、放出されるβ線を用いて内照射するのがRI治療です。

●主にメルカゾールなど抗甲状腺薬により抵抗性や副作用を示すバセドウ病症例、甲状腺全摘後明らかな遠隔転移を認めない分化型甲状腺癌症例が対象です。さらに当院では、外科治療することが多いプランマー病(自立機能性甲状腺結節)に対する内照射療法も積極的に実施しており、良好な成績を収めています。



(写真: I-131甲状腺シンチ画像。)
 左: バセドウ病症例の甲状腺
 右: 甲状腺全摘後残存甲状腺床に取り込まれたI-131。
 I-131から放出されるβ線により焼灼される

●上記対象の症例、またそれ以外でも長年抗甲状腺薬を投与されているバセドウ病患者、他の検査で偶然甲状腺腫瘍や甲状腺癌転移を疑われた症例は地域連携室にご連絡頂ければ甲状腺外来で対応させていただきますのでご紹介ください。

【甲状腺専門外来診療日程】 月曜日(午後)、木曜日(午後)※RIは木曜優先

関西電力病院 糖尿病・内分泌代謝センター

浜本 芳之
 糖尿病・内分泌代謝センター長



表 孝徳
 甲状腺センター長



甲状腺専門外来

河邊 譲治
 大阪市立大学 医学部附属病院
 核医学科 診療科部長



福田 祥子
 岡本甲状腺クリニック



関西電力病院
 病院長
 千葉 勉



甲状腺疾患は内分泌疾患の中では、糖尿病の次に多い疾患で、特に橋本病は中年以降の女性に多く見られる疾患です。前よりも少ししんどくなった、動きが鈍くなってきた、意欲が落ちてきた、表情に活気がなくなってきた、というような症状があれば橋本病の可能性がります。当院では、大阪市立大学から川邊准教授に来ていただいて、甲状腺専門外来を行っています。橋本病や甲状腺がんを含む甲状腺疾患について、幅広く専門的な診療を行っています。是非気軽にご相談いただくようお願いします。

お知らせ

「総合診断科」のご案内

関西電力病院では、患者さんにご紹介頂く先生方の利便性向上を目的として「総合診断科」を開設しております。診療科の特定が困難等、お困りの際は是非ご紹介下さい。


【ご紹介頂く対象となる患者様】

不明熱や、症状・病変が複数臓器にまたがる疾患等、診療科の特定が困難、あるいは複数の診療科への紹介が必要な患者さんをご紹介下さい。
 当院病院長が中心となって診療を担当し、診断結果に基づいて適切な専門診療科へ繋がります。

【診療日程】 火曜日(午前)

◎ご紹介頂く際は、地域医療連携室までお申し込み下さい。

Facebook  <https://www.facebook.com/kanden.hospital/> 

Twitter  https://twitter.com/kanden_hsp 